

令和6年度第1回津地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

○令和6年度 津地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿	P 1
○津地域高等学校活性化推進協議会設置要綱	P 2
○【資料1】 令和5年度第1回津地域高等学校活性化推進協議会の概要	P 3
○【資料2】 津地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況	P 5
○【資料3】 津地域の中学校卒業生進路先の推移	P 7
○【資料4】 令和6年度の協議について	P 8
○【資料5】 津地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）	P 9
○【資料6】 津地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移と予測	P 10
○【資料7】 津地域の高等学校の学科・コースについて（令和7年度）	P 11
○【資料8】 津地域の県立高等学校の特色（各学校より）	P 15
○【資料9】 津地域の県立高校卒業生（全日制）の進路状況	P 24
○【資料10】 津地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等	P 26
○【資料11】 令和21年度までの津地域の 県立高等学校（全日制）の総学級数について	P 29

令和6年度 津地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No		所 属 及 び 名 前	新・継
1	学識経験者	三重大学 教育学部 教授 大日方 真史	継続
2	地域有識者	津商工会議所 常務理事 塚澤 正樹	継続
3		津市商工会 事務局長 家城 吉孝	継続
4	市町教育委員会教育長	津市教育委員会 教育長 森 昌彦	継続
5	県立高等学校長代表	県立久居高等学校 校長 中村 聖一	継続
6	小中学校長代表	津市立美杉中学校 校長 太田 文彦	継続
7	小中学校PTA代表	津市PTA連合会 会長 (津市立一志東小学校PTA) 木原 剛弘	継続
8	高等学校PTA代表	津地区高等学校PTA連合会 代表 (久居高等学校PTA) 森松 千恵	新
9	小中学校教職員代表	津市立養正小学校 教諭 大藪 直之	新
10	高等学校教職員代表	県立津商業高等学校 教諭 松井 秀行	継続

津地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、津地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、津地域高等学校活性化推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の津地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 津地域の県立高等学校活性化の方策に関する事
- (3) 施設・設備に関する事
- (4) その他検討を要する事

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は令和5年12月1日から施行する。

令和 5 年度第 1 回津地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和 6 年 2 月 8 日（木）19 時 00 分から 21 時 02 分まで

2 場所 三重県吉田山会館 206 会議室

3 概要

「県立高等学校活性化計画」や、令和 4 年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する 15 年先までの津地域の中学校卒業生数の減少の状況等をふまえ、当地域において 15 年先に求められる（実現したい）学びや高校のあり方、今後の協議を深めていくための視点などについて協議しました。

主な意見は次のとおりです。

《津地域で実現したい学びや高校のあり方について》

- 経済産業省の「未来人材ビジョン（令和 4 年 5 月）」によると、「意識・行動面を含めた仕事に必要な能力等」として、2015 年時点では、「注意深さ・ミスがないこと」「責任感・まじめさ」「読み、書き、計算」などが重視されていたが、2050 年になると、「問題発見力」「的確な予測」「革新性」が求められるようになるとされている。こうした力を育むことができるよう、高校の授業も変革が求められている。
- 高校の授業でも、生徒が自ら課題を設定し主体的に学ぶことで、達成感が得られたり、自己肯定感が高まったりすることが大切である。
- 津地域には、旧津市内に私立高校を含め普通科の高校が多く設置されている。中学校卒業生数が減少する中で、子どもたちの多様なニーズに応えていくためには、専門学科の選択肢を維持するとともに、当地域における普通科の配置のあり方や特色化・魅力化についての議論が必要である。
- 1 学年 3 学級以下の高校は統合についての協議も行くとされているが、統合の話は先行させるのではなく、津地域の高校の魅力を高めるにはどうしたらよいかを、子ども目線で考えていくことが大切である。
- 学校現場では、特別な支援を必要とする子どもたちや外国につながりがある子どもたち、不登校の子どもたちが増えている。このような多様な子どもたちを受け入れられるよう、地域の高校のあり方を考えていきたい。
- 集団の中での学びに不安を抱える子どもたちに、通信制高校が広く認知されるとともに子どもたちの選択肢が広がり、進学者も増加した。全日制高校においても、多様な生徒の受入れという視点がより求められるのではないかと。
- 少子化の中で、企業においても限られたパイの奪い合いとなっている。地域の高校の特色化・魅力化を進めるにあたり、地域企業や行政がより協力することで、県外を含めた他地域からの入学者を増やし、より多くの生徒が地元で就職するというサイクルをつくりたい。

- 大手企業への就職を希望する生徒や保護者が多いが、中小企業で働くことの魅力や地元の優良企業について知ってもらい、地域の高校を卒業した生徒が、地元企業へ就職してもらえるような環境をつくっていききたい。

《今後の協議に必要な資料や進め方について》

- 学校規模による学習指導や部活動への影響が分かる資料や、先行している他地域の協議会の情報を提供してほしい。
- 津地域の各高校への交通手段、所要時間、通学費用等が分かる資料を提供してほしい。
- 今回協議会を立ち上げたが、今後どのようなことを、いつまでに議論する必要があるのか。
⇒ (事務局) まずは当地域の普通科のあり方を中心に協議を進め、令和7年度を目途に方向性を示したい。また、令和12年度までに、どの学校も1学級程度の減が想定されることから、その3年前の令和9年度を目途に、学校の配置も含めたあり方について、協議会としての方向性を取りまとめる必要があると考えている。
- 子どもたちが将来を見通して主体的に進路を選択できるようにするために、地域の小中学生や高校生のニーズや思いを調査したうえで、協議を進める必要があるのではないか。

津地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況【令和6年度：現高1】

資料2①

学校名	学科・コース	R6 入学 定員	R5.12月 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
			定員との 差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	志願者数	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
津	普通	320	414	94				320	376	320				320	
	学校計	320	414	94				320	376	320				320	
津西	普通	240	223	▲17				240	210	240				240	
	国際科学	80	154	74	40	143	40	40	135	40				80	
	学校計	320	377	57	40	143	40	280	345	280				320	
津商業	ビジネス	200	223	23	100	208	108	92	114	92				200	
	情報システム	40	24	▲16	20	20	20	20	11	20				40	
	学校計	240	247	7	120	228	128	112	125	112				240	
津東	普通	280	301	21	84	176	91	189	226	189				280	
	学校計	280	301	21	84	176	91	189	226	189				280	
津工業	機械	120	130	10	60	132	66	54	63	54				120	
	電気	40	40	0	20	39	22	18	18	18				41	
	電子	40	27	▲13	20	23	21	19	17	19				40	
	建設工学	40	48	8	20	46	22	18	18	18				40	
	学校計	240	245	5	120	240	131	109	116	109				241	
久居	普通	200	218	18	60	198	66	134	144	134				202	
	学校計	200	218	18	60	198	66	134	144	134				202	
久居 農林	生物生産	40	80*	58	18	20	54	22	36	35	36			80	
	生物資源	40		34	▲6	20	35	22							
	環境情報	40	80*	47	7	20	45	22	36	36	36			80	
	環境土木	40		32	▲8	20	32	22							
	生活デザイン	80	64	▲16	40	60	44	36	38	36				80	
	学校計	240	235	▲5	120	226	132	108	109	108				240	
白山	普通	40	27	▲13	20	27	22	18	13	13	5	5	5	40	
	情報 コミュニケーション	40	28	▲12	20	28	22	18	19	18				40	
	学校計	80	55	▲25	40	55	44	36	32	31	5	5	5	80	
地域内県立高校 計		1,920	2,092	172	584	1,266	632	1,288	1,473	1,283	5	5	5	1,923	0

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R5. 12月進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された調査結果

※久居農林:後期選抜はくくり募集（入学者を一括して募集し、入学後に所属する学科・コースを決定する）

津地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況【令和5年度：現高2】

資料2②

学校名	学科・コース	R5 入学 定員	R4. 12月 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
			定員との 差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	志願者数	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
津	普通	320	393	73				320	367	320				320	
	学校計	320	393	73				320	367	320				320	
津西	普通	240	220	▲20				240	186	240				240	
	国際科学	80	161	81	40	157	40	40	167	40				80	
	学校計	320	381	61	40	157	40	280	353	280				320	
津商業	ビジネス	200	248	48	100	226	108	92	124	92				200	
	情報システム	40	46	6	20	31	22	18	11	18				40	
	学校計	240	294	54	120	257	130	110	135	110				240	
津東	普通	280	262	▲18	84	179	88	192	211	192				280	
	学校計	280	262	▲18	84	179	88	192	211	192				280	
津工業	機械	120	132	12	60	115	66	54	48	48	6	3	3	119	▲1
	電気	40	33	▲7	20	39	22	18	19	18				40	
	電子	40	33	▲7	20	28	22	18	19	18				40	
	建設工学	40	31	▲9	20	34	22	18	14	14	4	2	2	37	▲3
	学校計	240	229	▲11	120	216	132	108	100	98	10	5	5	236	▲4
久居	普通	200	162	▲38	60	144	66	134	132	132	2	5	2	200	
	学校計	200	162	▲38	60	144	66	134	132	132	2	5	2	200	
久居 農林	生物生産	40	43	3	20	40	22	18	17	18				40	
	生物資源	40	37	▲3	20	40	22	18	17	17	1	1	1	39	▲1
	環境情報	40	42	2	20	41	22	18	17	17	1	0	0	39	▲1
	環境土木	40	26	▲14	20	26	22	18	20	18				40	
	生活デザイン	80	67	▲13	40	66	44	36	36	36				80	
	学校計	240	215	▲25	120	213	132	108	107	106	2	1	1	238	▲2
白山	普通	40	39	▲1	20	41	22	18	12	12	6	1	1	35	▲5
	情報 コミュニケーション	40	25	▲15	20	27	22	18	17	17	1	1	1	40	
	学校計	80	64	▲16	40	68	44	36	29	29	7	2	2	75	▲5
地域内県立高校 計		1,920	2,000	80	584	1,234	632	1,288	1,434	1,267	21	13	10	1,909	▲11

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R4. 12月進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された調査結果

津地域の中学校卒業生進路先の推移

卒業年	卒業生数	津地域(全日制)											合計
		県立									私立		
		津	津西	津商業	津東	津工業	久居	久居農林	白山	計	高田	セントヨゼフ	
R6.3卒	2,636	222	198	111	175	115	152	154	41	1,168	445	73	1,686
	100%	8.4%	7.5%	4.2%	6.6%	4.4%	5.8%	5.8%	1.6%	44.3%	16.9%	2.8%	64.0%
R5.3卒	2,655	218	225	112	192	112	158	150	31	1,198	477	68	1,743
	100%	8.2%	8.5%	4.2%	7.2%	4.2%	6.0%	5.6%	1.2%	45.1%	18.0%	2.6%	65.6%
R4.3卒	2,520	214	204	115	189	124	154	150	40	1,190	441	70	1,701
	100%	8.5%	8.1%	4.6%	7.5%	4.9%	6.1%	6.0%	1.6%	47.2%	17.5%	2.8%	67.5%

卒業年	津地域外(全日制)							定時制・通信制				合計	
	県立				県内私立・高専	県外	県内		県外		その他		
	鈴鹿亀山地域	伊賀地域	松阪地域	その他地域			定時制	通信制	定時制	通信制			
R6.3卒	162	19	72	104	227	37	621	82	110	0	88	49	329
	6.1%	0.7%	2.7%	3.9%	8.6%	1.4%	23.6%	3.1%	4.2%	0.0%	3.3%	1.9%	12.5%
R5.3卒	126	24	91	97	226	49	613	73	91	1	91	43	299
	4.7%	0.9%	3.4%	3.7%	8.5%	1.8%	23.3%	2.7%	3.4%	0.0%	3.4%	1.6%	11.3%
R4.3卒	148	15	68	71	199	40	541	70	95	0	63	50	278
	5.9%	0.6%	2.7%	2.8%	7.9%	1.6%	20.5%	2.8%	3.8%	0.0%	2.5%	2.0%	10.5%

【R6.3中学校卒業生(現高1)の津地域全日制高校以外への進路先】

* 津地域外(全日制) 合計621人

- ・ 鈴鹿亀山地域県立 (162人) 白子(51)、飯野(31)、亀山(35)、神戸(27)、稲生(13)、石薬師(5)
- ・ 伊賀地域県立 (19人) 名張(6)、名張青峰(10)、あけぼの(2)、伊賀白鳳(1)
- ・ 松阪地域県立 (72人) 松阪(43)、松阪工業(11)、松阪商業(11)、相可(4)、昴学園(3)
- ・ その他地域県立 (104人) 四日市(47)、四日市工業(11)、四日市南(4)、四日市西(2)、四日市商業(5)、桑名(4)、桑名北(1)、四日市中央工業(4)、四日市農芸(1)、菰野(4)、川越(1)、明野(1)、宇治山田(1)、伊勢(2)、宇治山田商業(11)、伊勢工(2)、水産(3)
- ・ 県内私立・高専 (227人) 鈴鹿(62)、三重(37)、鈴鹿高専(38)、近代高専(10)、海星(25)、皇学館(21)、伊勢学園(22)、鳥羽商船(5)、暁(3)、四日市メリノール学院(4)
- ・ 県外 (37人) 県外国公立全日制(5)、県外私立全日制(31)、県外高専(1)

* 定時制・通信制・その他 合計329人

- ・ 県内定時制 (82人) みえ夢学園(71)、松阪工業(3)、伊勢まなび(8)
- ・ 県内通信制 (110人) 大橋学園(33)、一志学園(16)、英心(14)、徳風(19)、松阪(23)、北星(4)、英心桔梗が丘校(1)
- ・ 県外定時制 (0人) 県外定時制(0)
- ・ 県外通信制 (88人) 県外通信制(88)
- ・ その他 (49人) 海外進学・就職・その他(31)、特別支援学校(18)

令和6年度の協議について

1 はじめに

少子化が進行するとともに、予測困難なほど社会情勢が大きく変化する中、子どもたちを取り巻く課題はより複雑化・多様化し、学校のあり方や教育そのものの意義も問われています。こうした中、令和4年3月に、これからの時代を生きていく高校生に育む力や、本県の県立高等学校で進めていく教育など、これからの三重の高校教育のあり方を示す「県立高等学校活性化計画（令和4年度から5年間）」【別冊資料参照】を策定しました。

2 協議の進め方

「県立高等学校活性化計画」に基づき、津地域における活性化協議会として令和5年度に「津地域高等学校活性化推進協議会」を設置しました。令和5年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、今後の津地域の県立高等学校の総学級数は段階的に減少していくことが見込まれます。協議会では、これからの時代に求められる学びの提供を実現するため、津地域の高等学校の学びと配置のあり方について、具体的な対応もあわせて検討を進め、その中で1学年3学級以下の高等学校については統合についての協議も行います。こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めます。

今年度の協議会では、昨年度に引き続き、地域の県立高等学校の現状と取り巻く状況、今後の地域の少子化の進行などについての情報を共有するとともに、今後の津地域の県立高等学校の学びと配置のあり方を考える上で、大切にしたいことなどについて協議します。

3 今後の協議会開催スケジュール

(1) 第1回協議会（本日10月1日）

- ・津地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・これからの津地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について①

(2) 第2回協議会（令和7年1～2月頃）

- ・これからの津地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について②
- ・来年度の協議会に向けて

資料5

津地域 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

令和6年5月1日 教育政策課調べ

	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3
卒業生数	2,586	2,520	2,655	2,636	2,535	2,524	2,435	2,419	2,375	2,303	2,288	2,237	2,201
前年度対比		-66	135	-19	-101	-11	-89	-16	-44	-72	-15	-51	-36
R6.3対比					-101	-112	-201	-217	-261	-333	-348	-399	-435

【参考】

鈴鹿地域 (鈴鹿市・亀山市)	卒業生数	2,259	2,409	2,221	2,413	2,267	2,255	2,218	2,117	2,096	2,066	1,888	1,783
	前年度対比		150	-188	192	-146	-12	-37	-101	-14	-30	-178	-105
	R6.3対比					-146	-158	-195	-296	-317	-347	-525	-630
伊賀地域 (伊賀市・名張市)	卒業生数	1,429	1,455	1,421	1,408	1,437	1,358	1,364	1,321	1,272	1,182	1,156	1,076
	前年度対比		26	-34	-13	29	-79	6	-43	-55	-35	-26	-80
	R6.3対比					29	-50	-44	-87	-191	-226	-252	-332
松阪市	卒業生数	1,390	1,386	1,457	1,467	1,444	1,399	1,440	1,335	1,208	1,254	1,219	1,103
	前年度対比		-4	71	10	-23	-45	41	-105	-31	46	-35	-116
	R6.3対比					-23	-68	-27	-132	-259	-213	-248	-364
県内合計	卒業生数	15,777	16,244	16,055	15,891	15,712	15,488	15,241	14,769	14,000	14,049	13,442	12,792
	前年度対比		467	-189	-164	-179	-224	-247	-472	-404	49	-607	-650
	R6.3対比					-179	-403	-650	-1,122	-1,891	-1,842	-2,449	-3,099

【県立高校(全日制)】

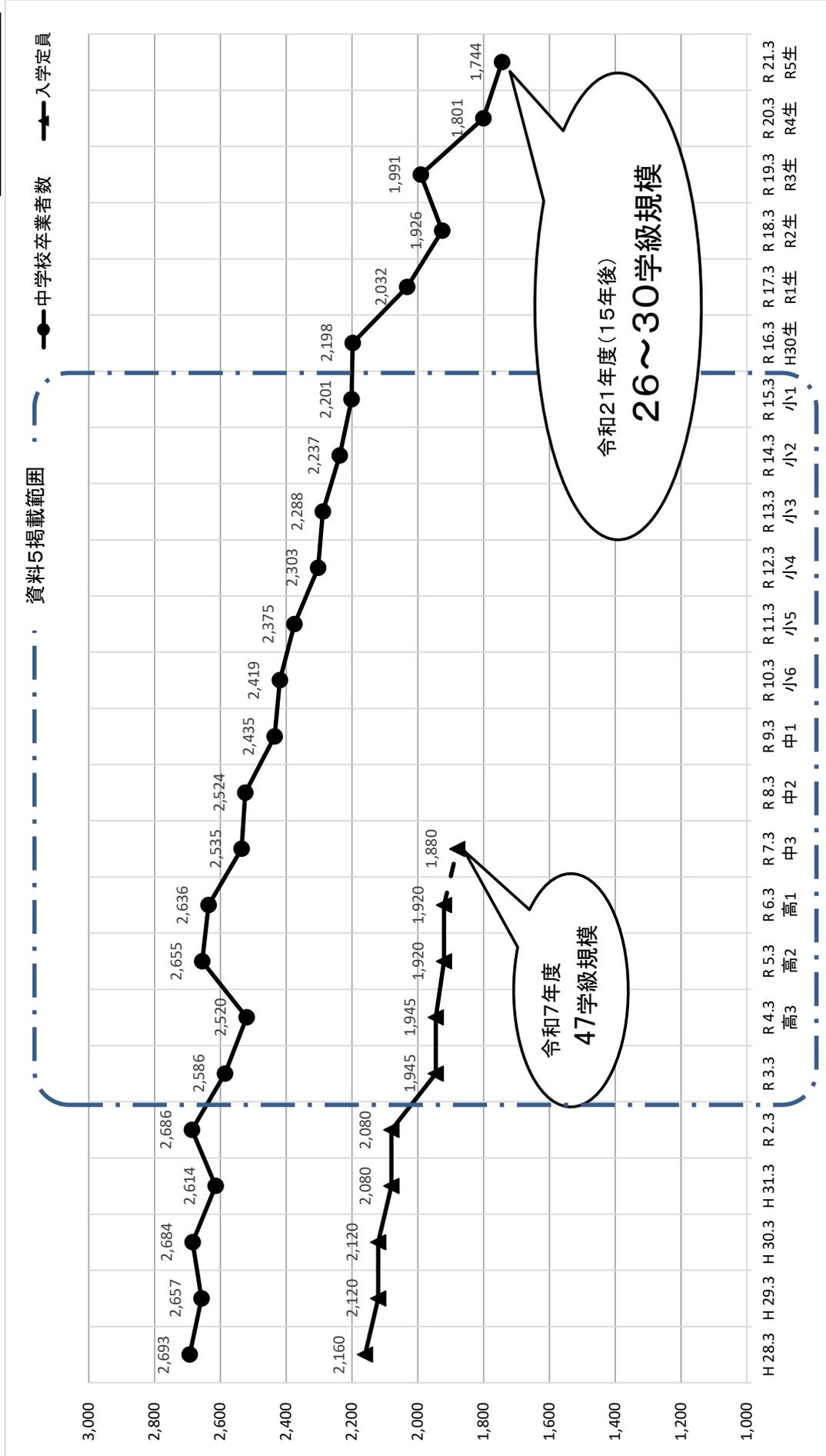
津地域	入学定員	1,945	1,945	1,920	1,920	1,880
	学級数(募集)	49	49	48	48	47
	欠員数	28	42	11	0	—
県内合計	学級数(募集)	271	274	268	263	258
	欠員数	325	324	334	207	—

【私立高校(全日制)】

高田	入学定員	560	570	565	560	560
	入学者数	562	595	618	578	—
	入学定員	125	135	130	130	125
セントヨゼフ	入学定員	61	75	73	81	—

津地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移と予測

資料6



【津地域の出生数】

	H27年度 現小3	H28年度 現小2	H29年度 現小1	H30年度 5~6歳	R元年度 4~5歳	R2年度 3~4歳	R3年度 2~3歳	R4年度 1~2歳	R5年度 0~1歳
津市	2,098	2,040	2,045	2,020	1,868	1,770	1,830	1,655	1,603

※ 平成30年度生まれ以降は出生数をもとに社会増減を加味した数値となっている。

津地域の高等学校の学科・コースについて（令和 7 年度）

1. 全日制課程

県立 <ul style="list-style-type: none"> ・津高等学校 ・津西高等学校 ・津商業高等学校 ・津東高等学校 ・津工業高等学校 ・久居高等学校 ・久居農林高等学校 ・白山高等学校 	普通科（320） 普通科（240）、国際科学科（80） ビジネス科（200）、情報システム科（40） 普通科（240） 機械科（120）、電気科（40）、 電子科（40）、建設工学科（40） 普通科（200） 生物生産科（40）、生物資源科（40）、 環境情報科（40）、環境土木科（40）、 生活デザイン科（80） 普通科（40）、 情報コミュニケーション科（40）
私立 <ul style="list-style-type: none"> ・高田高等学校 ・セントヨゼフ女子学園高等学校 ・青山高等学校 	普通科（560） II類特別選抜クラス、II類進学クラス、 I類進学クラス、6年制 普通科（125） スーパーアドバンスコース、 アドバンスコース 普通科（170） 特進Sコース、特進コース、進学コース

2. 定時制課程

県立 <ul style="list-style-type: none"> ・みえ夢学園高等学校 	総合学科 午前の部（40）、午後の部（40）、 夜間の部（40）
--	--

3. 通信制過程

私立 <ul style="list-style-type: none"> ・一志学園高等学校 	普通科（45） 全日型コース、土曜コース、 フレックスコース
---	--------------------------------------

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
 ※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（学
 際領域に関する学科、地域社会に関する学科など）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
 【職業系】農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科など
 職業教育を主とする学科
 【普通科系】理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科など
 職業系以外の専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修の旨として総合的に施す学科

津地域の高等学校の学科・コースについて(令和7年度)

資料7②

		1	2	3	4	5	6	7	8
津地域全日制課程	県立	津	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		津西	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		津商業	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	情報システム科	国際科学科
		津東	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		津工業	機械科	機械科	機械科	電気科	電子科	建設工学科	国際科学科
		久居	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		久居農林	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		白山	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		高田	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
		セントヨゼフ女子学園	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
私立	私立	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	

全47学級
 普通科※28
 専門学科19
 (工業6)
 (商業7)
 (農業4)
 (家庭2)
 総合学科0

※大学の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

普通科(特進Sコース、特進コース、進学コース) ※県外扱い

総合学科(午前の部)(40)、総合学科(午後の部)(40)、総合学科(夜間部)(40)

普通科(全日型コース、土曜コース、フレックスコース)

資料 7 ③

【参考】鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コース

学校名	募集定員		学科・コース							
	大学科※	募集定員	1	2	3	4	5	6	7	
鈴鹿亀山地域全日制課程	神戸	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科	理数科
	飯野	160	普通科	応用デザイン科	英語コミュニケーション科	英語コミュニケーション科	普通科	文化教養(吹奏楽)コース	生活創造科	
	白子	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科			
	石薬師	80	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科			
	稻生	160	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科			
	亀山	200	普通科	普通科	普通科	システムメディア科	システムメディア科	総合生活科		
私立	470	普通科	普通科(特進コース・探究コース・総合コース) ※募集定員には中等教育学校後期課程(6年制)も含む							

全28学級
普通科※ 24
専門学科 4
(家庭2)
(情報2)
総合学科 0

※大学科の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

○定時制課程 県立 飯野 80 普通科

○通信制課程 私立 徳風 240 普通科(総合コース、ドッグケアコース、パソコンコース、日本語コース、日本語コース、平日サポートコース) ※技能連携あり

○高等専門学校 国立 鈴鹿工業高専 200 機械工学科(40)、電気電子工学科(40)、電子情報工学科(40)、生物応用化学科(40)、材料工学科(40)

【参考】伊賀地域の高等学校等の学科・コース

学校名	募集定員		学科・コース						
	大学科※	募集定員	1	2	3	4	5	6	
伊賀地域全日制課程	上野	240	学際探究科	学際探究科	学際探究科	学際探究科	理数科	理数科	
	あけぼの学園	80	総合学科(製菓調理、美容服飾、情報教養、健康福祉)						
	伊賀白鳳	240	機械科(35人)、電子機械科(35人)、建築デザイン科(35人)、生物資源科(35人)、 アートシステム科(35人)、経営科(30人)、ヒューマンサートゥリス科(35人)						
	名張	200	総合学科(文理アドバンス、総合ビジネス、健康スポーツ、表現デザイン)						
	名張青峰	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	文理探究コース
	私立	155	普通科	普通科					

全26学級
普通科※ 12
専門学科 7
(工業3)
(商業1)
(農業2)
(福祉1)
総合学科 7

※大学科の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

○全日制課程 私立 愛農学園農業 25 農業科 ※県外扱い

○定時制課程 県立 上野 40 普通科

県立 名張 40 普通科

○通信制課程 私立 英心桔梗が丘校 60 普通科(探究コース)

○高等専門学校 私立 近畿大学工業高専 160 機械システムコース、電気電子コース、制御情報コース、都市環境(土木系、建築系)コース (3年次よりコース選択)

令和 6 年度 津高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

自由な校風と「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校

（自分で考え判断し、責任を持って行動することができ、高い志を抱いて社会に貢献することができる「自立した津高生」をめざしています）

2 学校の特色（普通科 8 学級）

（1）「自主・自律」の精神に基づく生徒自治

○津高校は明治 13 年（1880 年）の津中学校の開校から数えて、144 年の歴史と伝統があります。開校以来の「自主・自律」の精神に基づき、生徒の自治による学校運営がなされており、学校行事等は 70 人以上の有志のメンバーで構成される生徒会を中心に、すべて生徒主体で企画・運営されます。

＜学校行事＞

縦割りディスカッション（全学年が縦割りで少人数グループに分かれ、上級生がリーダーとなって津高ライフについて語る）のほか、体育祭や文化祭、レクリエーション大会、また修学旅行や人権学習等も生徒が自主的に運営します。

○授業は 65 分×5 限です。知的好奇心や自ら学ぶ力を引き出し、主体的な学びへとつなげます。授業での対話をとおして論理的に考える力や自分の考えを発信する力、他者を理解・受容する力を向上させるとともに、互いに高め合って学力の伸長を図ります。難関大学を志す生徒が共に学び合う取組等も充実しています。

（2）スーパーサイエンスハイスクール（SSH）をはじめとした豊かな探究・体験活動

○文部科学省により平成 19 年度からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けています（現在Ⅳ期目）。先進的な理数教育と現場での実体験を重視した学びにより、探究心を高め「創造性」「国際性」「課題解決能力」を育み、地域や日本、世界を牽引する人材の育成をめざしています。

＜外部機関との連携・体験活動＞

- ・京都大学・大阪大学・名古屋大学・三重大学等の研究室での実験実習
- ・東京大学キャンパスツアー（模擬授業・部活サークル活動体験）
- ・三重県総合博物館・井村屋グループ(株)・トヨタ自動車(株)等での研修
- ・地域医療体験、裁判員裁判見学、漁村での宿泊研修など

○全校生徒が 3 年かけて探究活動に取り組み、その成果を論文にまとめ発表します。

○姉妹校である台湾の高雄市立中山高級中學とオンラインを活用した共同研究やホームステイによる相互訪問を実施し、研究成果を英語で発表する活動を行っています。

（3）多くの生徒が集う図書館

○生徒は、授業、探究活動、部活動など様々な場面で図書館とその本を活用しています。

○放課後を中心に、青空図書館や図書館文化講座、車座トーク、図書館ライブなど多彩なイベントがあり、様々な人と出会える場となっています。

○ライブラリー・オブ・ザ・イヤーズ 2021 の優秀賞にも選ばれました。

（4）タイムマネジメントによる学校生活の充実

○生徒一人ひとりが時間管理(タイムマネジメント)能力を高め、限られた時間を有効に使って計画を立て、学習と部活動等を両立し、充実した学校生活を送っています。

○今年度 1 年生の部活動加入率は、約 98%で兼部を含むと約 130%です。

令和 6 年度 津西高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

- 高い知性と豊かな感性を備え、高い志と広い視野を持って、夢の実現に向け行動する、たくましい生徒の育成をめざす学校
- 豊かな人間性と社会性を持ち、社会の進展に主体的に対応して、国材社会、地域社会に貢献する生徒の育成をめざす学校

2 学校の特色（国際科学科 2 学級、普通科 6 学級）

(1) 国際科学科

学問に対する強い情熱と好奇心に応え、理系・文系両分野の難関国公立大学への進学希望を実現し、将来、国際分野で幅広く活躍できる人材を育成する学科です。

○津西サイエンス・パートナーシップ・プログラム

平成 19 年度からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、大きな成果を上げました。その成果を継続するため、平成 25 年度はサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）の指定を受け、平成 26 年度より「津西 SPP」を実施しています。国際科学科を中心に大学と連携しながら、引き続き先進的な取組を行っています。

(2) 普通科

自分の得意分野や進路希望に応じて科目選択を行い、学習する力と真の学力を身につけて、文系・理系を問わず国公立大学や難関私立大学への進路実現を図り、将来、地域社会のリーダーとなる人材を育成する学科です。

(3) 単位制

一般的な文系・理系の選択科目だけでなく、さまざまな進路希望に応じた多様な選択科目を設置しています。看護系、体育系、芸術系などへの進学にも対応し、習熟度別講座などの少人数講座も展開しながら丁寧な指導を行っています。

(4) 津西グローバルチャレンジプロジェクト（希望者）

国際理解や多文化理解を深めることを目的とした海外語学研修を、令和 6 年度はオーストラリア・ブリスベンに 9 日間の日程で実施しました。また、国内大学で学ぶ留学生と英語で討論する「グローバルスタディーズプログラム」に参加し、英語運用能力を高める取組を行っています。

(5) 西考（課題研究プログラム）

以前からの取組である「地域テーマ型」に「キャリアデザイン型」、「学際型」の取組を加え、生徒の興味関心に応じた課題研究を展開しています。本校の課題研究「西考」は、地元起業家、NPO 代表、医師、弁護士、科学技術系研究者など、現在活躍されている本校の卒業生が、「探究メンター」として各探究のグループに加わることで、幅広い分野の課題研究を展開しています。

(6) 部活動

創立以来、「文武両道」を校是とし、文化系、運動系合わせて 30 の部活動を設置しています。毎年安定して、県内各大会で入賞、ベスト 8 等の上位の成績を収め、これまでに東海大会や全国大会出場の実績も残しています。特に、屋外の部活動については、多数の部が同時に活動できる第一グラウンドと野球専用の第二グラウンドを持ち、県下トップクラスの環境が整備されています。

令和 6 年度 津商業高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

「全力津商」の精神のもと、商業の見方や考え方を重視した学校教育をとおして「知識・技術」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育み、地域社会に貢献できる人材を輩出する学校

2 学校の特色（ビジネス科 5 学級、情報システム科 1 学級）

(1) 各学科の特色

○ビジネス科

ビジネス社会で必要とされる幅広い知識と技術（経営状況と経済の動向を読み解く力）を高め、実社会で活躍できる人材を育成します。また、2 年次より**会計類型**と**経営情報類型**に分かれ、さらに専門性を高めています。

○情報システム科

ビジネス社会におけるデジタル人材（経営状況とデータを論理的に活用する力を高め）を育成します。特に、プログラミングやシステム開発をとおして、ICT スキルと課題解決能力を高めています。

○両学科共に 3 年間の学びから得た資格を活用して商学・経営系等の大学進学をめざすとともに、事務系やサービス業を中心とした幅広い分野での就職を実現しています。

(2) 専門性を生かした課題解決型の探究活動（学科共通）

○商業科目「ビジネス基礎」におけるビジネス探究プログラムの推進（1 学年）

消費者の立場で見ていた身近なビジネス社会を経営者の立場で考え、問いを深め、新たなビジネスを発想するアクティブな授業を展開しています。

○商業科目「課題研究」におけるテーマ別の探究学習（3 学年）

「商品開発」「三重の観光研究」「ビジネスプラン提案」「ゲームアプリ制作」など、地域や地元企業・行政等と連携しながら、商業の専門性を活用して地域の課題を発見・解決する探究的な学びをとおして、ビジネス社会に貢献する人材を育成しています。

(3) 地域や産業界等と連携した取組

○人権フィールドワーク（1 学年）

地域の協力のもと、12 分野に区分された社会課題（部落問題や障がい者差別等）を調査研究した後、報告会を実施し、人権感覚あふれる学校づくりを進めています。

○インターンシップ（2 学年）

地元商工会議所と連携し、夏季休業中に多様な業種・職種にわたる就業体験や希望する大学等を訪問した後、報告会を実施し、生徒のキャリア発達の促進に努めています。

○韓国世宗大聖高等学校との姉妹校交流（希望者）

三重県国際交流財団の支援を受け、相互訪問とホームステイ受入れ、ICT を活用した交流をとおして、言語、歴史文化、食、社会課題に関する相互理解を深めています。

(4) 部活動の振興

8 割を超える生徒が部活動に取り組んでおり、スポーツや文化活動を通じて、個人やチームの目標達成に挑戦しています。運動部（10）・文化部（17）が活発に活動し、多くの部が全国レベルの成果をあげています。

令和6年度 津東高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

- 自分らしくたくましく「未来を切り拓く力」を育成する津東高校
- 「向学立志」の精神を大切にし、地域に信頼される津東高校

2 学校の特色（普通科7学級）

(1) 類型制クラス編制によるきめ細かな学習指導、進路指導

単位制高校の特色を生かして多様な科目の講座を開設し、生徒一人ひとりの進路希望の実現をめざします。進路希望に応じて、Sクラスを3クラス、Fクラスを4クラスとする2つの類型制クラス編制をとっています。

<Sクラス>

- 1年次より国公立大学をはじめとする四年制大学進学を強く希望する生徒で編制するクラスです。
- 国公立大学等への進学に向けた、高い学力を身につけていきます。2年次から「文系」と「理系」の2つに分かれ、それぞれの進路希望に応じた学習を進めていきます。
- Sクラス独自の行事として、夏季休業中の大学見学会や土曜補講を実施し、高い志と広い視野を持つよう意識しています。

<Fクラス>

- Fクラスは1年次で共通科目を学習し、2年次では「文系」と「理系」の2つの系列に、3年次には「国公立文系」「理系」「A型文系」「B型文系」の4つの系列から、自分の進路に最も適したものを選び、進路希望の実現を図ります。
- 土曜補講や大学見学会は、Fクラスの生徒については、希望者の参加となります。クラスを越えて切磋琢磨するよい機会となっています。

(2) 探究活動「自分らしくプロジェクト」

自分らしくたくましく「未来を切り拓く力」（対話力・追究力・創造力・発信力）を育成するため、1・2年生の「総合的な探究の時間」において、探究活動「自分らしくプロジェクト」に取り組んでいます。

- 「自分らしくプロジェクト」は個人研究です。自分の興味関心や好奇心、疑問等から、一人ひとりが自らテーマを設定し、「答えが一つでない問い」に対して「自分らしい答えを創る」経験をしていきます。
- 各クラスには多種多様な経歴を持った外部メンターの方に付いていただき、生徒に伴走していただいています。

(3) 充実した学校行事や部活動

- 体育祭やクラスマッチ等、生徒会執行部が中心となって、生徒自らが作り上げていきます。特に文化祭の一般公開は、たくさんの方に来場いただき、大変な盛り上がりを見せます。
- たくさんの部活動があり、約8割の生徒が部活動に励んでいます。全国大会や東海大会にも出場するなど、活発に活動しています。

令和 6 年度 津工業高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

校訓『質実剛健』のもと、「ものづくり、ひとづくり」を通し、「志、技、心」を育み、生徒の夢を実現し、次代の産業界を担う人材を輩出する学校

2 学校の特色（建設工学科、電気科、電子科各 1 学級、機械科 3 学級）

4 学科を設置する、平成 29 年度に創立 100 周年を迎えた長い歴史と伝統を有する、中勢地区唯一の工業高校です。生徒は、日々、教科学習をはじめ、資格取得や部活動等の自主的・自発的な活動をとおして、基礎学力の向上、工業に係る専門知識・技術の習得等に積極的・意欲的に取り組んでいます。

(1) 各科について～カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)～

◎建設工学科

土木技術者、建築技術者としての活躍をめざし、木工実習や基礎測量等の共通の知識・技術とともに、2 年次より建築コースと都市システムコースに分かれて専門的な知識・技術を学びます。

◎電気科

電気技術者としての活躍を、また、国家資格の取得もめざし、発電・送電・配電から電気の応用までの知識・技術を幅広く学びます。

◎電子科

電子技術者としての活躍をめざし、電気の基礎から電子回路、通信技術や情報処理技術等の専門までの知識・技術を幅広く学びます。

◎機械科

機械技術者としての活躍をめざし、全産業の基盤となる機械工学に必要な、設計や工作、製図や原動機等の知識・技術を学びます。

○国家試験資格・検定資格等

第 1 種及び 2 種電気工事士、第 3 種電気主任技術者、第 2 級陸上特殊無線技士、IT パスポート、工事担任者、2 級ボイラー技士、危険物取扱者、機械保全技能士、機械検査技能士、機械加工技能士、建築大工技能士、2 級建築・土木施工管理技士補、測量士補等、資格取得にも力を入れています。

(2) 部活動について

硬式野球、軟式野球、テニス、ラグビー、サッカー、バドミントン、ハンドボール、陸上競技、バスケットボール、バレーボール、弓道、卓球、山岳、ヨット、美術、軽音楽、建設研究、電気研究、電子研究、機械研究、理科研究、人権サークル等の多彩な部活動に、生徒の約 8 割が参加し、世界や全国等の大会で顕著な成績を収めたり、各種イベントに参加し、地域との交流を行ったりしています。

(3) 求める生徒像～アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)～

- 「ものづくり」に興味・関心があり、工業に係る専門知識・技術の習得に強い意欲を持ち、自己の進路実現に向かって主体的に学ぶ生徒
- ルールやマナーを順守し、良好なコミュニケーションを心がけながら、基本的な生活習慣の確立に向かって弛まなく行動する生徒
- 部活動や生徒会活動、資格取得等の自主的・自発的な活動の充実に向かって積極的にチャレンジする生徒

令和6年度 久居高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

校訓「意欲・誠実・創造」の理念のもと、学校生活の充実と確かな進路保障を通じて生徒・保護者・地域から信頼される魅力ある学校づくりを推進し、地域や社会に貢献する人材の育成をめざす学校

2 学校の特色（普通科5学級）

調和のとれた人間性豊かな生徒の育成に取り組んでいます。生徒の進路希望は4年制大学進学から就職まで幅広く、平成9年度から単位制カリキュラムの実施により生徒の多様なニーズに応え、進路実現をサポートする学校として生徒・保護者・地域の期待に応え、信頼される学校づくりを推進しています。

(1) 教育活動 「自律し、自立する大人へ」をモットーに生徒の成長をサポートします。

- ① 校訓の「意欲・誠実・創造」を實踐できる生徒を育む教育活動の推進
 - 基本的な生活習慣の定着・向上と規範意識の醸成を図り、社会生活において求められる力を育むとともに、互いを尊重する心、思いやりの心を育む生徒指導に取り組みます。
 - 学習習慣の確立・定着を通じて、社会生活の基盤となる学力の向上に取り組みます。
- ② 生徒の多様な進路希望に応じた選択科目と授業選択モデルの設定、少人数授業による一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育の推進
 - (5学級をスポーツコース1クラス+普通コース4クラス+チャレンジコース1クラスに展開)
 - **スポーツコース**では、1年次より体育系大学への進学や実社会でスポーツに関わる人材育成を目標に、科学的トレーニング法などスポーツ理論の科目や校外実習等を設定し、運動能力を生かした多様な進路希望が実現できるようサポートします。また、地元の保育園児幼稚園児との異年齢交流、小学生にマット運動を指導する出前授業も行っています。
 - **普通コース**では、2年次より「看護」「保育」「公務員」をはじめ、進路実現に適した教科・科目を配置した9つの授業選択モデルを設定し、モデルに沿った学習に取り組むことで多様な進路が実現できるようサポートします。選択科目には思考力や表現力、コミュニケーション力を育み高める特色ある科目も設定しています。
 - **チャレンジコース**では、国公立大学、難関・中堅私立大学等への進路希望の実現に向け、少人数によるきめ細かな授業や課外授業により生徒の学習をサポートします。
- ③ 教育活動全体を通じた人権教育の推進
 - 人権が尊重される学校づくりの推進により、自己存在感、共感的人間関係、自己選択権自己決定権の育成を図ります。
- ④ 人間力の向上を図る取組の推進
 - 学校行事や部活動、生徒会活動、ボランティア活動等を通じて責任感、協調性、礼儀、マナーを身につけた生徒を育成します。

(2) 学校生活の充実

- ① 遠足、体育祭、文化祭、スポーツ大会、芸術鑑賞会、修学旅行等の学校行事を通じて、仲間と共に楽しい時間を共有することができます。
- ② 部活動も活発に活動しており、県大会・地区大会・全国大会で活躍するなど、充実した学校生活を過ごすことができます。
- ③ オーストラリア・ギラウィン高校との交換留学（9月受入れ・3月派遣）
 - 平成7年姉妹校提携以来、両校による短期派遣留学プログラムは本校生徒の英語力を培うだけでなく、海外への視野を広げ国際的な分野への進路を切り開くきっかけにもなっています。

令和 6 年度 久居農林高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

少人数教育を生かし、地域に根ざした専門高校をめざします

- 「農業」「家庭」の専門性を生かし、地域社会を担う将来のスペシャリストを育成します
- 「生物」「環境」「生活」の情報発信基地として、地域に貢献します

2 学校の特色（生物生産科、生物資源科、環境情報科、環境土木科各 1 学級、生活デザイン科 2 学級）

本校は明治 37 年三重県立農林学校として開校し、本年度創立 120 周年を迎え歴史と伝統のある農業科と家庭科の専門高校です。農業科に 6 コース、生活デザイン科に 3 コースの計 9 コースを設置し、生徒のニーズに応じた多様で専門性を追究した学びができます。

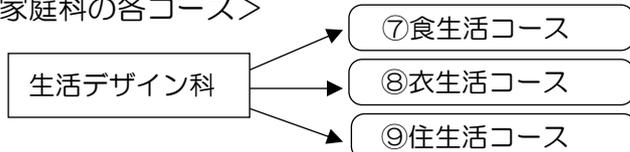
地域交流に積極的に取り組み、令和 4 年度からは榊原地域の活性化に関わる事業に参加し、地元食材を活用したスイーツやランチメニューの開発に取り組んでいます。また、平成 22 年度より取り組んでいる「わくわく農林塾」は、地元の保育園児や小学生等を招き、本校の生徒が先生役となって実施する交流授業です。当時参加した子どもたちが本校に何人も入学しており、よき伝統となりつつあります。

(1) 学科とコースについて

<農業科の各科・各コース>



<家庭科の各コース>



(2) 各コースについて

- ①食品コース……………多様な生産物から自分たちで安全・安心な加工食品を生み出すスペシャリストをめざします。
- ②植物コース……………環境に配慮した安全・安心な野菜・果物のスペシャリストをめざします。
- ③動物コース……………命の大切さを基本とし、ペットから家畜まで幅広く動物のスペシャリストをめざします。
- ④環境保全コース……………自然の持つ多様な機能を理解し、環境保全活動に貢献できるスペシャリストをめざします。
- ⑤ガーデニングコース…花や緑に囲まれた生活空間を創造するスペシャリストをめざします。
- ⑥土木・機械コース……………地球環境を守り、快適な生活空間を創造するプランナー・エンジニアをめざします。
- ⑦食生活コース……………豊かな食生活を調理実習や食文化の視点から学びます。
- ⑧衣生活コース……………豊かな衣生活を服作りと服飾文化の視点から学びます。
- ⑨住生活コース……………豊かな住まいをものづくりと福祉の視点から学びます。

令和 6 年度 白山高校（全日制）の特色

1 めざす学校の姿

地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する取組を行う学校

2 学校の特色（普通科 1 学級、情報コミュニケーション科 1 学級）

昭和 23 年に三重県久居高等学校（現・久居農林高等学校）家城分校として開校し、昭和 34 年に普通科・農業科・家庭科を設置する三重県立白山高等学校として独立しました。現在は、普通科と情報コミュニケーション科（商業科）の 2 学科が設置されており、少人数授業を行うなど一人ひとりにあった学びが柔軟にできる学校として、創立以来多くの卒業生を輩出しています。

本校のスクールポリシーは、「あなたの好きを見つけよう」です。生徒は毎日、自らの目標に向かって、学習活動や部活動などに活発に取り組んでいます。また、目標がまだ見つかっていない生徒は、教職員とじっくり話をしながら、自ら目標を定めていきます。

豊かな自然や地域の方のサポートなど教育的に恵まれた環境の下、地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する学校をめざしています。

【校 訓】努力・誠実・強健

【重点目標】確かな学力と規範意識の育成、地域とともにある学校づくりの推進、生徒のための教職員組織づくりの推進

(1) 各学科の特色

＜普通科＞

○少人数制の授業を実践しており、2 年次から 2 つの類型に分かれます。

①**普通類型**では、基礎学力の徹底を図り、社会に出るための全般的な教養を身につけます。

②**福祉類型**では、福祉・介護分野への就職・進学や介護職員初任者研修の資格取得をめざし、専門的な実習や授業を行います。

＜情報コミュニケーション科＞

○1 年次では商業の基礎を学び、2 年次から 2 つの類型に分かれます。

①**メディア類型**では、パソコンなどのメディアを活用した情報処理や情報発信等の能力を身につけます。

②**観光ビジネス類型**では、簿記などの商業の学習、地域での体験学習や商品 P R などをおして、白山地域の観光やおもてなしの精神を学びます。

(2) 地域との 3 年間の協働（主に「総合的な探究の時間」を活用したキャリア教育）

○1 年次には、I C T 機器の活用能力を向上させ、調べ学習などを通し地域力（地域理解力や郷土愛）を育み、地域をみる多様な視点を身につけます。2 年次には、テーマを定めたグループに分かれ、地域の産業や特徴を探究します。3 年次には、普通科は年間をとおしたインターンシップで、情報コミュニケーション科は課題研究で、地域企業や職業人と触れ合う機会を設け、社会人として必要なスキルを学びます。本校での 3 年間のキャリア教育を通し、卒業後は地域で即戦力として活躍できる人材になることを期待しています。

令和 6 年度 みえ夢学園高校（定時制）の特色

1 めざす学校の姿

自分を見つめ、夢の実現に向けてチャレンジできる学校

【育みたい生徒像】

- 自分の持ち味を生かしながら、自立し、充実した社会参画ができる力を身につけた生徒
- 向上心を持って何事にも積極的にチャレンジする生徒
- 社会の一員としての自覚を持ち、自己の役割を果たすことができる生徒
- 進路実現に向けて、必要な基礎学力を身につけている生徒
- 心地よい人間関係を築くために、ルールやマナーを大切にしている生徒

2 学校の特色（総合学科：午前の部、午後の部、夜間部 各 1 学級）

- 3 部制となっており、自分のスタイルに応じた時間で学習することができます。

午前の部… 8:45～12:10

- 社会福祉系列 : 介護福祉士の受験資格取得をめざします。
- 服飾デザイン系列 : 服飾に関する知識・技術を身につけます。
- 国際経営系列 : 英語検定や商業関係の資格取得もめざします。

午後の部…13:10～16:35

- 福祉サービス系列 : 社会福祉一般に関する素養を身につけます。
- デザイン・美術系列 : 造形・表現に関する素養を身につけます。
- ビジネス情報系列 : 商業や情報処理の実務能力を身につけます。

夜間部……17:30～20:55

- ビジネスサービス系列 : 商業関係の資格取得もめざします。
- デザイン・工芸系列 : 工芸に関する知識・技術を身につけます。
- 文化教養系列 : 社会生活を送るために必要な教養を養います。

- 文部科学省の「マイスター・ハイスクール普及促進事業」に三重県教育委員会が採択され、拠点校の一つとして取り組んでいます。
- 所属部の時間は必ず授業を受けますが、それ以外の時間の授業も受けられます。
- 通信制併修など多様な学び方を提供しています。他部の授業を受けるなど、さまざまな学び方により、3年間で卒業することもできます。
- 福祉関係、美術関係、服飾関係、商業関係、外国語関係など、特色ある多様な科目から選択し、学習することができます。（約 100 科目開設）
- 単位制で、自分の興味・関心や進路に応じて科目を選択します。そのため、選択科目に応じて、時間割は一人ひとり異なります。
- 基本的に 20 名以内の少人数講座で、誰もが学びやすいユニバーサルデザインの授業を行います。
- 外国につながるのある生徒への日本語指導を行っています。また、学習や生活上の困難さを克服する通級指導を行っています。
- スクールカウンセラー、発達障がい支援員などの多くの外部の専門家による支援を行っています。
- 令和 7 年 4 月本校敷地内に三重県立みえ四葉ヶ咲中学校（夜間中学）が開校します。
※同校は学びの多様化学校としても申請中です。

津地域の県立高校卒業生(全日制)の進路状況(令和6年3月卒)

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
津	普通	236	3	4	1	64	308
		76.6%	1.0%	1.3%	0.3%	20.8%	100.0%
津西	普通 国際科学	275	3	4	1	23	306
		89.9%	1.0%	1.3%	0.3%	7.5%	100.0%
津商業	商業	63	21	62	90	2	238
		26.5%	8.8%	26.1%	37.8%	0.8%	100.0%
津東	普通	220	18	17	1	12	268
		82.1%	6.7%	6.3%	0.4%	4.5%	100.0%
津工業	工業	37	0	19	176	2	234
		15.8%	0.0%	8.1%	75.2%	0.9%	100.0%
久居	普通	59	16	55	49	9	188
		31.4%	8.5%	29.3%	26.1%	4.8%	100.0%
久居農林	農業 家庭	12	9	64	132	7	224
		5.4%	4.0%	28.6%	58.9%	3.1%	100.0%
白山	普通	5	3	9	36	1	54
		9.3%	5.6%	16.7%	66.7%	1.9%	100.0%
	情報 コミュニケーション	0	5	0	15	0	20
		0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	100.0%
普通科計 (普通科系専門学科含む)		795	43	89	88	109	1124
		70.7%	3.8%	7.9%	7.8%	9.7%	100.0%
専門学科計 (職業系専門学科)		112	35	145	413	11	716
		15.6%	4.9%	20.3%	57.7%	1.5%	100.0%
合計		907	78	234	501	120	1,840
		49.3%	4.2%	12.7%	27.2%	6.5%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業生数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

津地域の県立高校卒業生(全日制)の進路状況(令和5年3月卒)

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
津	普通	263	3	2	0	49	317
		83.0%	0.9%	0.6%	0.0%	15.5%	100.0%
津西	普通 国際科学	290	8	2	1	14	315
		92.1%	2.5%	0.6%	0.3%	4.4%	100.0%
津商業	商業	68	24	69	110	4	275
		24.7%	8.7%	25.1%	40.0%	1.5%	100.0%
津東	普通	261	14	26	1	8	310
		84.2%	4.5%	8.4%	0.3%	2.6%	100.0%
津工業	工業	32	2	27	167	1	229
		14.0%	0.9%	11.8%	72.9%	0.4%	100.0%
久居	普通	67	25	85	41	6	224
		29.9%	11.2%	37.9%	18.3%	2.7%	100.0%
久居農林	農業 家庭	12	14	62	128	6	222
		5.4%	6.3%	27.9%	57.7%	2.7%	100.0%
白山	普通	5	8	12	29	0	54
		9.3%	14.8%	22.2%	53.7%	0.0%	100.0%
	情報 コミュニケーション	1	0	5	14	0	20
		5.0%	0.0%	25.0%	70.0%	0.0%	100.0%
普通科計 (普通科系専門学科含む)		886	58	127	72	77	1220
		72.6%	4.8%	10.4%	5.9%	6.3%	100.0%
専門学科計 (職業系専門学科)		113	40	163	419	11	746
		15.1%	5.4%	21.8%	56.2%	1.5%	100.0%
合計		999	98	290	491	88	1,966
		50.8%	5.0%	14.8%	25.0%	4.5%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業生数に対する割合を表す

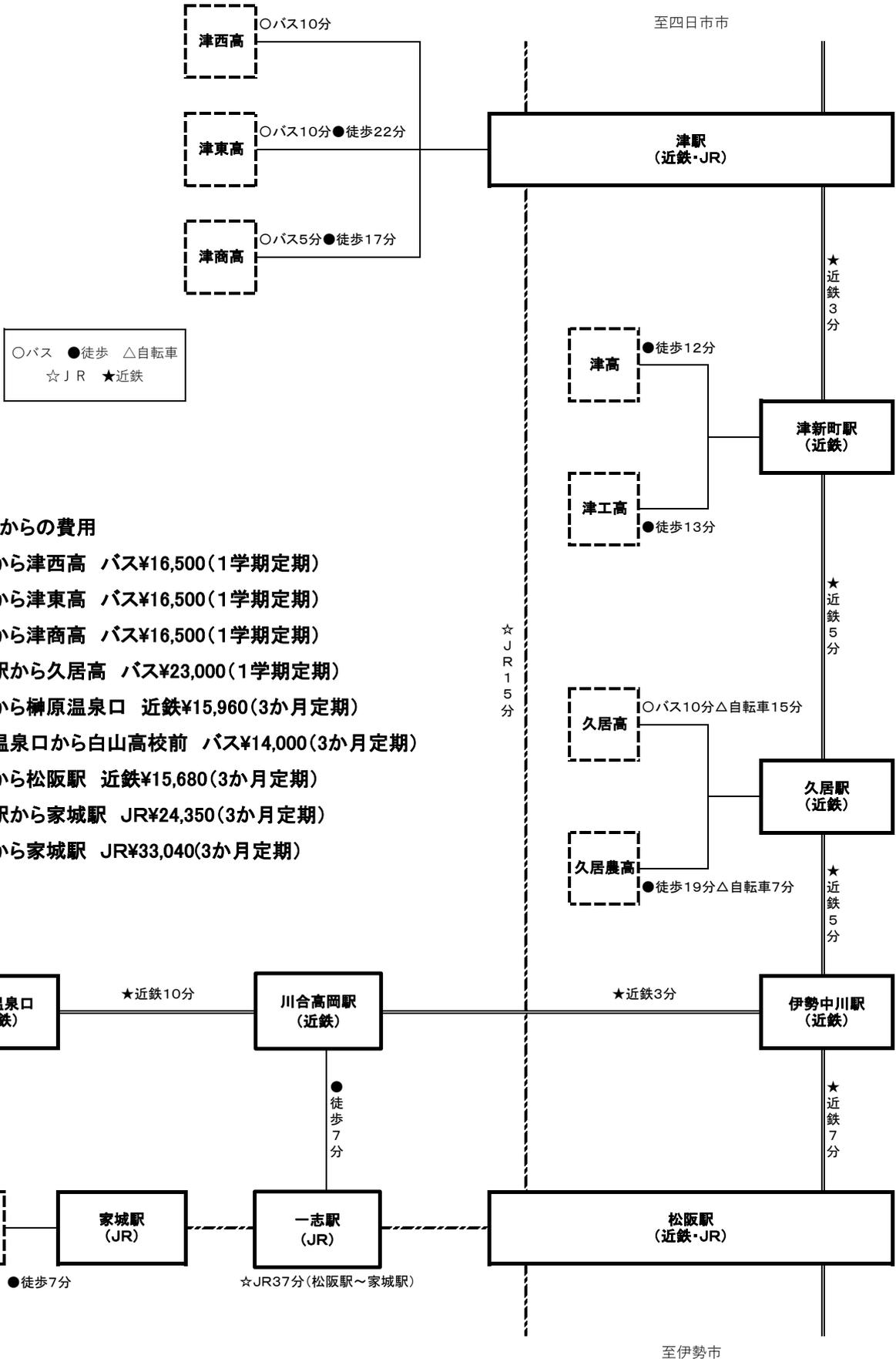
※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

津地域の県立高等学校(全日制)への交通手段等

(1)交通手段・費用・時間



(2)通学方法別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

		津	津西	津東	津工業	津商業	久居	久居農林	白山	
徒歩のみ		53	20	67	19	21	8	29	17	
		5.5%	2.1%	8.1%	2.8%	2.9%	1.4%	4.2%	7.8%	
自転車のみ		228	223	183	166	92	366	298	7	
		23.9%	23.8%	22.2%	24.2%	12.8%	62.0%	42.8%	3.2%	
JRのみ		0	0	62	27	62	0	4	43	
		0.0%	0.0%	7.5%	3.9%	8.7%	0.0%	0.6%	19.7%	
私鉄のみ		309	0	160	131	259	2	104	2	
		32.4%	0.0%	19.4%	19.1%	36.2%	0.3%	14.9%	0.9%	
バスのみ		15	50	35	7	30	6	12	1	
		1.6%	5.3%	4.3%	1.0%	4.2%	1.0%	1.7%	0.5%	
JRと	私鉄		33	0	2	12	15	2	21	10
			3.5%	0.0%	0.2%	1.7%	2.1%	0.3%	3.0%	4.6%
	バス		0	87	9	0	5	2	2	3
			0.0%	9.3%	1.1%	0.0%	0.7%	0.3%	0.3%	1.4%
	自転車		0	40	69	37	40	5	45	80
			0.0%	4.3%	8.4%	5.4%	5.6%	0.8%	6.5%	36.7%
私鉄と	バス		49	304	29	16	17	17	8	14
			5.1%	32.4%	3.5%	2.3%	2.4%	2.9%	1.1%	6.4%
	船		0	0	0	2	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自転車		221	145	177	246	160	151	150	3
			23.1%	15.5%	21.5%	35.8%	22.3%	25.6%	21.6%	1.4%
バスと自転車		6	16	10	7	6	8	2	1	
		0.6%	1.7%	1.2%	1.0%	0.8%	1.4%	0.3%	0.5%	
その他		41	53	20	17	9	23	21	37	
		4.3%	5.7%	2.4%	2.5%	1.3%	3.9%	3.0%	17.0%	
合計		955	938	823	687	716	590	696	218	

(3)通学費用別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

	津	津西	津東	津工業	津商業	久居	久居農林	白山
不要	290	268	277	190	119	391	339	38
	30.4%	28.6%	33.7%	27.7%	16.6%	66.3%	48.7%	17.4%
3000円以内	104	8	73	53	33	27	23	12
	10.9%	0.9%	8.9%	7.7%	4.6%	4.6%	3.3%	5.5%
5000円以内	258	168	208	224	305	83	210	31
	27.0%	17.9%	25.3%	32.6%	42.6%	14.1%	30.2%	14.2%
7000円以内	174	164	111	151	164	36	57	33
	18.2%	17.5%	13.5%	22.0%	22.9%	6.1%	8.2%	15.1%
9000円以内	31	178	43	27	32	26	37	51
	3.2%	19.0%	5.2%	3.9%	4.5%	4.4%	5.3%	23.4%
11000円以内	52	82	38	19	19	14	7	27
	5.4%	8.7%	4.6%	2.8%	2.7%	2.4%	1.0%	12.4%
13000円以内	21	28	27	10	24	10	9	4
	2.2%	3.0%	3.3%	1.5%	3.4%	1.7%	1.3%	1.8%
15000円以内	11	16	18	6	6	2	2	6
	1.2%	1.7%	2.2%	0.9%	0.8%	0.3%	0.3%	2.8%
15001円以上	14	26	28	7	14	1	12	16
	1.5%	2.8%	3.4%	1.0%	2.0%	0.2%	1.7%	7.3%
合計	955	938	823	687	716	590	696	218

※通学費用は1か月あたりの費用

(4)通学時間別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

	津	津西	津東	津工業	津商業	久居	久居農林	白山
15分以内	119	107	68	79	43	67	97	28
	12.5%	11.4%	8.3%	11.5%	6.0%	11.4%	13.9%	12.8%
30分以内	254	149	145	137	101	183	182	27
	26.6%	15.9%	17.6%	19.9%	14.1%	31.0%	26.1%	12.4%
45分以内	209	206	161	159	192	188	158	39
	21.9%	22.0%	19.6%	23.1%	26.8%	31.9%	22.7%	17.9%
60分以内	217	263	287	234	280	122	182	58
	22.7%	28.0%	34.9%	34.1%	39.1%	20.7%	26.1%	26.6%
90分以内	130	188	143	71	91	27	68	44
	13.6%	20.0%	17.4%	10.3%	12.7%	4.6%	9.8%	20.2%
120分以内	25	21	14	6	7	2	7	15
	2.6%	2.2%	1.7%	0.9%	1.0%	0.3%	1.0%	6.9%
121分以上	1	4	5	1	2	1	2	7
	0.1%	0.4%	0.6%	0.1%	0.3%	0.2%	0.3%	3.2%
合計	955	938	823	687	716	590	696	218

※通学時間は片道の所要時間

令和21年度までの津地域の県立高等学校（全日制）の総学級数について

資料 1 1

令和7年度(現中3) 地域の中学校卒業予定者数 2,535人 (R6年度比▲101)	令和9年度(現中1) 地域の中学校卒業予定者数 2,435人 (R6年度比▲201)	令和12年度(現小4) 地域の中学校卒業予定者数 2,303人 (R6年度比▲333)	令和15年度(現小1) 地域の中学校卒業予定者数 2,201人 (R6年度比▲435)	令和21年度 地域の中学校卒業予定者数 1,744人 (R6年度比▲892)
--	--	---	---	--

